

製品名: FRS2 (リン酸化 Tyr436) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04709**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	65kDa

抗原情報

遺伝子名	FRS2
別名	FRS2; Fibroblast growth factor receptor substrate 2; FGFR substrate 2; FGFR-signaling adaptor SNT; Suc1-associated neurotrophic factor target 1; SNT-1
遺伝子 ID	10818.0
SwissProt ID	Q8WU20
免疫原	抗血清は、ヒト FRS2 の Tyr436 リン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 402-451

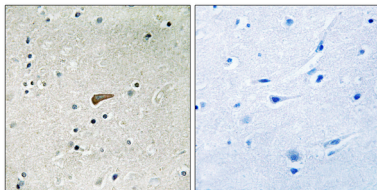
背景

機能:FGFR 受容体および NGF 受容体を下流シグナル伝達経路にリンクするアダプタータンパク質。MAP キナーゼの活性化に関与する。NTRK1 上の共通結合部位を競合することにより、SHC1 を介したシグナル伝達を調節する。、PTM:NGF 刺激によりチロシン残基がリン酸化される。、PTM:チロシンがリン酸化され、GRB2 と複合体を形成するとユビキチン化される。リン酸化されていない形態はユビキチン化されない。、配列注意:stop と翻訳される。、類似性:1つの IRS 型 PTB ドメインを含む。、細胞内局在:細胞質、膜結合型。、サブユニット:FRS2、GRB2、および SOS1 を含む複合体の一部。GRB2 および CBL を含む複合体の一部。RET に結合 (類似性による)。FGFR1、SUC1、NTRK1、NTRK2、NTRK3、および SRC に結合。チロシンリン酸化タンパク質は、GRB2 および PTPN11 の SH2 ドメインに結合します。、組織特異性: 心臓、脳、脾臓、肺、肝臓、骨格筋、腎臓、精巣で高発現しています。、機能: FGR 受容体および NGF 受容体を下流のシグナル伝達経路にリンクするアダプタータンパク質。MAP キナーゼの活性化に関与しています。NTRK1 上の共通結合部位を競合することで、SHC1 を介したシグナル伝達を調節します。、PTM: NGF 刺激によりチロシン残基がリン酸化されます。、PTM: チロシンがリン酸化され、GRB2 と複合体を形成すると、ユビキチン化されます。非リン酸化型はユビキチン化を受けない。、配列注意: stop と翻訳される。、類似性: IRS 型 PTB ドメインを 1 つ含む。、細胞内局在: 細胞質、膜結合型。、サブユニット: FRS2、GRB2、SOS1 を含む複合体の一部。GRB2 と CBL を含む複合体の一部。RET に結合する (類似性による)。FGFR1、SUC1、NTRK1、NTRK2、NTRK3、SRC に結合する。チロシンリン酸化タンパク質は、GRB2 の SH2 ドメインと PTPN11 に結合する。、組織特異性: 心臓、脳、脾臓、肺、肝臓、骨格筋、腎臓、精巣で高発現する。、

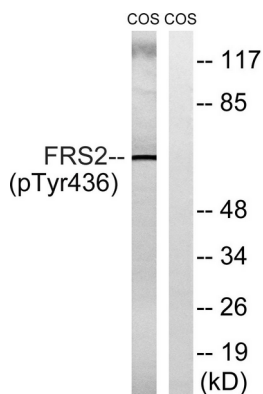
研究分野

神経栄養因子;

画像データ

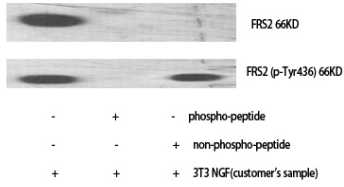


FRS2 (リン酸化 Tyr436) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



COS7 細胞ライセートの FRS2 (リン酸化 Tyr436) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。

リン酸化 FRS2 (Y436) ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



リン酸化 FRS2 (Y436) ポリクローナル抗体を用いた COS 細胞のウェスタンブロット解析

